

# 山のトイレは、**山のトイレの約束ごと!** 街のトイレとは違います。

## 山岳公衆便所、仕組みと利用のルール

山岳公衆便所は、上下水道も電気もない山岳地に設置されています。汚水の処理には、土壌の自然浄化力を活かした無放流の土壌処理システムを採用しているため、利用にあたっていくつかのルールを定めています。汚水処理の仕組みと利用のルールをまとめましたので、ご確認ください。皆さんの節度ある利用を心よりお願いいたします。

山のトイレ管理には莫大なお金がかかっています!  
山岳トイレ使用時の**3つのルール**

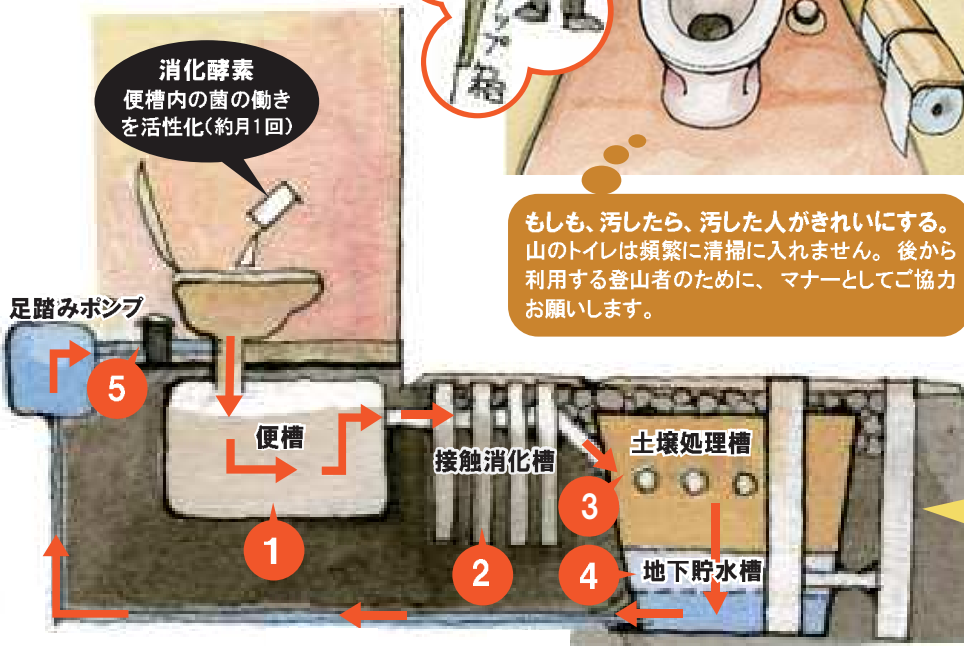
トイレチップ  
100円を用意!

便器内に  
大小便以外を  
投入しない!

水流しは  
1回のみ!

■トイレチップ  
山岳トイレは維持管理に資金が必要です。トイレ使用料として、まずチップ100円のご協力をお願いします。

## 土壌処理装置の概略図



もしも、汚したら、汚した人がきれいにする。  
山のトイレは頻繁に清掃に入れません。後から利用する登山者のために、マナーとしてご協力をお願いします。

## ■足踏みポンプ

地下貯水槽から処理水を汲み上げ、便器洗浄水として再利用しています。貯水は限られていますので、水流しは1回のみとしてください。

## 使用済みトイレットペーパーは持ち帰る!

トイレットペーパーは備えてありますが、便器の中には絶対に投げ入れないでください。使用済み紙の持ち帰りに、ご協力をお願いします。

便器に大小便以外のゴミを、絶対に投入しないでください。浄化システムに重大な機能不全を引き起こす原因になります。

## 土壌処理装置の汚水循環

- ① 便槽  
便槽内に生息する菌が大便に含まれる有機物を固形から液体に分解します。もしここに紙や異物が混入すると、菌の働きが低下し、システム全体の機能不全を引き起こす要因になります。
- ② 接触消化槽  
更に分解を進め、浮遊物を除去します。
- ③ 土壌処理槽  
土壌菌の働きで汚水を浄化します。
- ④ 地下貯水槽  
土壌処理槽から浸透した処理水を溜める槽です。足踏みポンプへと連結し再利用されます。
- ⑤ 足踏みポンプ  
地下貯水槽から処理水を汲み上げ、便器洗浄水として再利用します。